

中部地方整備局 同時発表

平成29年7月13日
総合政策局公共事業企画調整課
大臣官房公共事業調査室
大臣官房技術調査課

インフラメンテナンス大賞 受賞団体を表彰！

～第1回インフラメンテナンス大賞表彰式・平成29年度インフラメンテナンス国民会議総会を開催～

国土交通省、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省及び防衛省は7月24日に初めてのインフラメンテナンス大賞の表彰式を開催します。

1. 開催案内

日時 平成29年7月24日(月) 10:30～15:30 (開場9:45)

場所 中央合同庁舎2号館 地下2階 講堂 **別紙1**参照

[所在地: 東京都千代田区霞が関2丁目1-2]

次第 <午前の部>

・石井国土交通大臣より祝辞

・各賞の受賞団体(28団体)表彰

別紙2参照(参考) H29.4.28 記者発表資料 http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03_hh_000162.html

<午後の部>

・インフラメンテナンス大賞 受賞案件プレゼン

・国民会議活動報告・計画や第2回大賞についての説明 他

出席者 国土交通大臣、各省政務官

(予定) インフラメンテナンス大賞 大西 隆 選考委員長

インフラメンテナンス国民会議 富山 和彦 会長、家田 仁 副会長 他

2. 聴講について

・本会議の聴講を希望する方は、**別紙3**により事前申込みが必要です。(申込先) hqt-maintenance-sogo@ml.mlit.go.jp

・参加希望者が定員に達し次第、受付を締め切らせていただきます。

・当日の受付 9:45～10:15 (10:15までにご着席をお願いします。)

3. 取材について

・本会議は取材(傍聴・カメラ撮り)可能。

・取材を希望される方は、**別紙4**により、7月19日(水)17時までに登録が必要です。

・当日は会議開始20分前に、講堂の入口前にお集まり下さい。

問い合わせ先

国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 佐藤、鎮西、田中

TEL: 03-5253-8111 (内線24543、24544、24535)、03-5253-8912 (直通)

FAX: 03-5253-1551

第1回 インフラメンテナンス大賞 表彰式・
 平成29年度 インフラメンテナンス国民会議 総会
 会場(中央合同庁舎第2号館：地下2階 講堂) 案内図

平成29年7月24日(月) 10:30~15:30

【所在地】 東京都千代田区霞が関2丁目1-2

【最寄り駅】 地下鉄丸ノ内線・日比谷線・千代田線「霞ヶ関駅」A3b出口 直結
 地下鉄有楽町線「桜田門駅」4出口 徒歩2分

<地図>



○当日は9:45より、受付を開始します。

○10:15までにご着席をお願いします。

第1回「インフラメンテナンス大賞」 受賞案件

別紙 2

※凡例 ア メンテナンス実施現場における工夫部門 イ メンテナンスを支える活動部門 ウ 技術開発部門

<総務省案件>

No.	表彰の種類	部門※	分野	受賞者(代表企業・団体名)	受賞案件名
1	総務大臣賞	ウ	情報通信	エヌ・ティ・ティ・インフラネット(株)	屋外設備データベースのメンテナンスを抜本的に効率化する計測・管理技術の開発
2	情報通信技術の優れた活用に関する総務大臣賞	ウ	道路	首都高速道路(株)	GISと三次元点群データを活用した道路・構造物維持管理支援システムの開発
3	特別賞	ア	情報通信	(株)NTTファシリティーズ	全国各地へ面的に広がる日本の通信インフラの保守、機能継続
4	優秀賞	ア	情報通信	東日本電信電話(株)	通信用鉄塔設備劣化度判定の簡易化・定量化の実現と点検業務効率化の推進
5		ア	情報通信	(株)NTT東日本ー東北	元位置工具による共架柱の更改コストの削減について
6		ウ	情報通信	讀賣テレビ放送(株)	タブレット端末を使用したオンエア監視装置の開発

<文部科学省案件>

No.	表彰の種類	部門※	分野	受賞者(代表企業・団体名)	受賞案件名
1	文部科学大臣賞	イ	文教施設等	国立大学法人名古屋大学	大学施設の創造的再生に向けた教職協働によるキャンパスマネジメント
2	特別賞	イ	文教施設等	国立大学法人岐阜大学工学部附属インフラマネジメント技術研究センター	健全なインフラメンテナンスをリードする技術者の育成事業(ME養成及び道守養成)
3	優秀賞	ア	文教施設等	八女市	老朽化した中学校屋内運動場の長寿命化を図り活用した取組
4		ア	文教施設等	橋本市	橋本市立高野口小学校の木造校舎の改修

<厚生労働省案件>

No.	表彰の種類	部門※	分野	受賞者(代表企業・団体名)	受賞案件名
1	厚生労働大臣賞	ウ	水道	(株)デック	既設経年管を再利用したステンレス・フレキ管による水道管路の更新・耐震化の新工法
2	優秀賞	ア	水道	東京都水道局	漏水防止計画作業
3		ウ	水道	日本ヴィクトリック(株)	伸縮可とう管の変位状況を簡単に検知できる専用の計測装置で、管路の安全管理に貢献

<農林水産省案件>

No.	表彰の種類	部門※	分野	受賞者(代表企業・団体名)	受賞案件名
1	農林水産大臣賞	イ	農業農村	やまのぼり 山田堰土地改良区	水田を潤す日本最古の三連水車(1789年 寛政元年)の維持・伝統・環境保全活動
2		イ	林野	公益財団法人オイスカ・名取市海岸林再生の会	東日本大震災復興支援「海岸林再生プロジェクト10ヵ年計画」
3		ウ	水産	一般社団法人全日本漁港建設協会	「漁港施設点検システム」の構築と活用
4	特別賞	ア	農業農村	有田川土地改良区	畑地かんがい用水送水施設(パイプライン)の破損事故発生からの早期復旧への取り組み
5	優秀賞	ア	農業農村	あいのぼり 愛谷堰土地改良区	農業水利施設における地域住民参加型「直営施工工事」
6		イ	林野	NPO法人北海道魚道研究会	魚道データベースの構築と魚道清掃ボランティア活動
7		ウ	農業農村	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	ポンプ設備の劣化進行を状態監視する新たな診断システム

<国土交通省案件>

No.	表彰の種類	部門※	分野	受賞者(代表企業・団体名)	受賞案件名
1	国土交通大臣賞	ア	下水道	東京都下水道局	「下水道管のビッグデータ」を活用したメンテナンス
2		イ	道路	しゅうニャン橋守隊	しゅうニャン橋守隊(CATS-B)による猫の手メンテナンス活動
3		ウ	河川・ダム・砂防・海岸	(株)在原製作所	維持管理性を向上させた河川排水用新形立軸ポンプ(楽々点検ポンプ)の技術開発
4	特別賞	ア	鉄道	東海旅客鉄道(株)	東海道新幹線土木構造物の大規模改修による長寿命化
5	優秀賞	ア	道路	青森県	青森県におけるトータルマネジメントシステムによる橋梁維持管理
6		ア	道路	島根県	道路橋及びコンクリート構造物の点検・診断等アドバイザー制度
7		イ	道路	(独)国立高等専門学校機構 舞鶴工業高等専門学校 社会基盤メンテナンス教育センター	地元インフラを地元で守り次世代へと継承する建設技術者育成活動

<防衛省案件>

No.	表彰の種類	部門※	分野	受賞者(代表企業・団体名)	受賞案件名
1	防衛大臣賞	ア	自衛隊施設	清水建設(株)・(株)村田相互設計・中国四国防衛局	海上自衛隊 第1術科学校『大講堂』平成の大改修

インフラメンテナンス大賞 表彰式・インフラメンテナンス国民会議 総会 出席申込書

インフラメンテナンス国民会議事務局 御中

平成29年7月24日に開催されるインフラメンテナンス大賞表彰式及びインフラメンテナンス国民会議総会に以下の者の出席を申し込みます。

出席予定者

企業・団体等 名称		
連絡先 (窓口)	氏名	(よみがな)
	TEL	
	メール	
出席者1	氏名	(よみがな)
	所属	
	役職	
出席者2	氏名	(よみがな)
	所属	
	役職	

出席申込書の提出先及び問い合わせ先

〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3

国土交通省総合政策局公共事業企画調整課

インフラメンテナンス国民会議担当 佐藤・鎮西

TEL : 03-5253-8111(内線24543、24544)

Mail : hqt-maintenance-sogo@ml.mlit.go.jp

国土交通省総合政策局公共事業企画調整課 あて (FAX 03-5253-1551)

取材申込書

取材を希望する場合は、この様式により上記連絡先までFAXでお申し込み下さい。
申し込み締め切りは、7月19日(水) 17時までです。

会社名及び部署名

取材者 氏名 (全員の氏名を記載願います)

① (代表者)

②

③

④

⑤

テレビカメラの持ち込みの有無

(該当するものに○をつけて下さい) 有 ・ 無

連絡先 (代表者の連絡先)

留意事項

- 1) 出席者への取材はできません。
- 2) 現地担当者の指示に従って下さい。
- 3) 当日のスケジュール変更の可能性もございますのでご留意下さい。

インフラメンテナンス国民会議(平成28年11月28日設立)

設立の背景

- インフラは豊かな国民生活、社会経済を支える基盤であり、急速にインフラ老朽化が進む中で施設管理者は限られた予算の中で対応しなければならず、インフラメンテナンスを効率的、効果的に行う体制を確保することが喫緊の課題
- 豊かな国民生活を送る上でインフラメンテナンスは国民一人ひとりにとって重要であることから、インフラメンテナンスに社会全体で取り組むパラダイムの転換が必要

目的

1. 革新的技術の発掘と社会実装
2. 企業等の連携の促進
3. 地方自治体への支援
4. インフラメンテナンスの理念の普及
5. インフラメンテナンスへの市民参画の推進

国民会議の性格

産官学民が連携するプラットフォーム



設立の位置付け

- 社会資本整備審議会・交通政策審議会技術分科会技術部会 提言(平成27年2月)
「社会資本のメンテナンス情報に関わる3つのミッションとその推進方策」
- 日本再興戦略改訂2015-未来への投資・生産性革命-(平成27年6月30日閣議決定)
- 日本再興戦略2016-第4次産業革命に向けて-(平成28年6月2日閣議決定)
- 政務官勉強会 提言(平成28年7月29日)

準備状況

- 意見交換会(平成27年11月~12月、平成28年4月)2回
- 部会・フォーラム準備会(平成28年6月2日~9月29日)延べ11回

インフラメンテナンス国民会議の主な活動

組織体制

